

令和6年度第3回大府市地域公共交通活性化協議会

要点記録

開催日時	令和7年2月12日（水）午後2時00分～午後2時30分
開催場所	大府市役所5階 全員協議会室
出席者	14名（欠席者5名）
オブザーバー	5名
傍聴者	2名
次第	1. 会長あいさつ 2. 報告事項 （1）令和6年度事業報告について （2）大府市循環バスの停留所名称の変更について （3）大府市循環バスの路線改正に向けた手続の状況について （4）第2次大府市地域公共交通計画（案）のパブリックコメント実施結果について 3. 議題 （1）第2次大府市地域公共交通計画について （2）令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について 4. その他 （1）今後のスケジュールについて

1. 会長あいさつ

2. 報告事項

事務局から資料説明し、意見はなかった。

3. 議題

（1）第2次大府市地域公共交通計画について

事務局から資料説明し、質疑及び意見は特になく、全会一致のため承認された。

（2）令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について

事務局から資料説明し、意見聴取を経た後、全会一致のため承認された。

なお、主な意見聴取は以下のとおり。

- ・民業を圧迫しないというのが大府市の意向だと思う。受益者負担をどのように考えていくのか当初から議論されている。これから利便性をどのように上げていくのかを考えた時に、ハードウェアの部分だけではなく、ソフトウェアの部分も考えていくべきだと感じた。高齢者は、スマホを使えないという人もいるが、使い

こなせる人もたくさんいる。あらゆる人を対象に様々な高齢者のことを考えた MaaS を考えていくべきだと思う。バス会社からの情報提供を大府市が繋ぐことこそが MaaS である。大府市と各業者で一層の連携を取ってもらいたい。また、バス利用者の1日の姿を想像することをペルソナマーケティングという。例えば、病院は、診察の終わりがよめないなので、往路はバスを利用し、復路はタクシーを利用するなど、公共交通機関の便利で賢い使い方があることを想像することができる。大府市内のどこに行くのか、どこに拠点があるのかを考えた上で、どのような潜在能力があるのか考えることが大府市版 MaaS である。どの高齢者に対応するのかを考えると、さらに良い循環バスになると思う。

4. その他

(1) 事務局から、本協議会の来年度のスケジュールについて説明した。

— 終 了 —